

# PETROLEUM & CHEMICALS SOLUTION GROUP

## 石油・化学ソリューショングループ

### OUR VISION

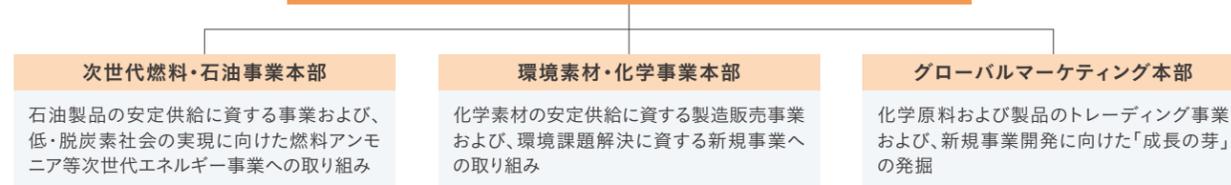
気候変動や海洋プラスチック問題等を背景として、低・脱炭素社会への移行や環境負荷低減の重要性は日に日に高まっています。当グループでは、社会や人々の生活に不可欠な石油製品・化学素材の安定供給を着実に果たしながら、低・脱炭素社会の実現に貢献することを最重要テーマに掲げています。エネルギーおよび素材分野において、経済価値に加え環境価値・社会価値を伴った事業の構想・実行を通じ、社会課題の解決に貢献するグループを目指します。

常務執行役員  
石油・化学ソリューション  
グループCEO

竹内 修身



### 石油・化学ソリューショングループの組織



### 外部環境変化を踏まえたリスクと機会

リスク	機会
<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動問題を背景としたエネルギー業界の構造変化や代替燃料への移行</li> <li>化石由来の化学素材における市場価値の低下、代替素材への移行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低・脱炭素社会における燃料アンモニア・水素利活用の進展</li> <li>既存化学素材の低炭素化・リサイクル事業の拡大</li> <li>バイオ由来やCO<sub>2</sub>を原料とした新たな化学素材市場の成長</li> </ul>

### 石油・化学ソリューショングループの強み

- ・トレーディング事業・製造事業を通じて獲得した幅広い顧客基盤、業界プレゼンス、市場インテリジェンス
- ・低・脱炭素社会の実現に向けた次世代燃料や環境に対応した化学素材事業の構想力と実行力
- ・長年の電力燃料供給実績とアンモニア製造事業の運営経験に基づく燃料アンモニア事業の構築力

### 中期経営戦略2021における戦略

対面業界課題である「次世代エネルギーへの対応 (EX: エネルギー・トランスフォーメーション)」と「既存製品と同等の機能・安定供給力を有し、環境負荷が低減された化学素材への転換 (MX: マテリアル・トランスフォーメーション)」をグループの最優先テーマと位置付けています。EXとMXの観点から基盤事業の強化・転換、新規事業の構想・実行を果たし、収益の量・質的向上を図ります。

### 2021年3月期の進捗

- ・EXについては、燃焼時にCO<sub>2</sub>を排出しないアンモニアを次世代エネルギーの最有力候補として位置付け、アンモニアのサプライチェーン実証実験やCCS調査等、事業構想の実現に向けた具体的な取り組みを開始しています
- ・MXについては、技術的・経済的課題と時間軸も見極めながら、ケミカルリサイクル事業、既存製品の低炭素化、バイオケミカル事業やカーボンリサイクル事業の構想・実行に向けて取り組んでいます

### 主要連結対象会社からの当社持分損益

	持分比率(%)	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3
1 アストムエネルギー株式会社	49.00	17	30	▲8	11	16
2 サウディ石油化学株式会社	33.34	89	120	118	27	11
3 三菱商事エネルギー株式会社*	100.00	24	28	20	29	69
4 三菱商事ケミカル株式会社	100.00	13	16	17	14	13
5 三菱商事プラスチック株式会社	100.00	19	25	30	26	26

\*2016年3月期より三菱商事石油株式会社から社名変更。他営業グループが保有する関連持分損益(2020年3月期▲3億円、2021年3月期1億円)は含まれていない。  
注:各社における傘下会社の持分損益も合算して表示。

### 石油・化学ソリューショングループの事業紹介

#### 燃料アンモニア事業

低・脱炭素社会の実現に向け、燃料アンモニア事業を検討・展開していきます。アンモニアは燃焼時にCO<sub>2</sub>を排出しない次世代クリーンエネルギーとして注目されており、第一段階として、化石資源をベースとした従来の製法にCCS(CO<sub>2</sub>回収貯留)やEOR(石油増進回収)を組み合わせて製造するブルーアンモニアの製造・輸送・貯蔵に関する取り組みを加速します。また、第二段階として、アンモニア・水素の社会実装や再生可能エネルギーをベースとしたグリーンアンモニアの事業展開についても併せて検討していきます。



#### ケミカルリサイクル事業(循環型PET製造事業)

タイで飲料ボトル用PET樹脂の製造・販売事業を展開するThai Shinkong Industry Corporation(タイ新光)社の第三者割当増資を引き受け(出資比率:34%)、ケミカルリサイクル事業に参入します。PET樹脂は優れた透明性、バリア性の特徴を持ち、回収・リサイクルシステムが構築されたリサイクル性の高い単一素材で、飲料用ボトルや食品用容器、衣料用繊維など幅広い用途に使用されています。世界的にプラスチックに対する環境意識や循環型社会への移行要請に対し、タイ新光社はPET樹脂製造能力の拡張、および、ケミカルリサイクル技術導入によるリサイクルPET樹脂の製造を計画し、2022年上期に商業生産開始を予定しています。三菱商事はタイ新光社の経営ポジションに人材を派遣し、同社の事業経営に貢献するとともに、市場ニーズが高まるリサイクルPET樹脂の販売を通じて、循環型社会の実現に貢献していきます。



#### CGCL(メタノール製造販売事業)

トリニダード・トバゴのCaribbean Gas Chemical Limited(CGCL)社は、2013年に設立、2020年6月に建設工事を完了し2020年12月より商業運転を開始しています。メタノール年間100万トン、ジメチルエーテル年間2万トンの製造能力を有しています。

メタノールは、接着剤、農薬、塗料、合成樹脂、合成繊維の原料等幅広い用途に使用され世界的に需要が拡大していますが、CO<sub>2</sub>を原料として製造することも可能であり、近年、有望な環境対応型燃料・化学素材原料として期待されています。

経験豊富な事業パートナーと安定操業を実現するとともに、グローバルマーケットにおける三菱商事の販売力を通じて、事業の優位性を確立していきます。

